医学研究に関する情報公開および
研究協力へのお願い

福井大学学術研究院医学系部門看護学領域臨床看護学分野は、福井大学医学系研究倫理審査委員会の承認および医学系部門長の許可を得て、下記の医学研究を実施しています。

本研究では、能登町が既に保有している健診データを研究に利用します。この研究のために、新たな検査、調査、介入等を行うことはありません。

このような研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意をいただくかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

本研究で使用する健診データは、能登町健康福祉課において個人を特定できないよう仮名化した後、福井大学に提供されます。福井大学の研究者は、提供されたデータから研究対象者個人を特定することはできません。また、研究対象者個人と研究データを対応させる対応表の提供は受けません。

なお、能登町において、検診データの研究への利用について情報を公開し、検診データの仮名化前まで研究利用を拒否する機会（オプトアウト）を保障しています。ただし、福井大学にデータが提供された後には、個人を特定できない状態となっているため、研究利用を希望しない旨の申し出があった場合であっても、研究者が該当する方のデータを特定して研究から除外または削除することはできませんのでご了承ください。

その他、研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」へご照会ください。

福井大学学術研究院医学系部門看護学領域臨床看護学分野

承認日：2026 年 10 月 19 日

ver.1.0

【研究課題名】

能登町高齢者における COVID-19 流行期、震災前および令和 6 年能登半島地震後の Frailty Index の変化

【研究期間】

研究機関の長の許可日～2027 年 3 月 31 日

【研究の目的・意義】

本研究は、能登町の高齢者を対象に、COVID-19 流行期、震災前および震災後における Frailty Index（FI）の経時的変化を明らかにするとともに、FI の経時的変化に関連する基本属性および健康関連項目を探索的に検討することを目的としています。

本研究により、連続した環境変化が高齢者の健康状態に及ぼす影響を把握するとともに、健康悪化リスクの高い高齢者の特徴を明らかにすることで、災害後の効果的な健康支援および介護予防活動を検討するための基礎資料となることが期待されます。

【研究の内容】

1．研究の対象となる方

2021 年度、2023 年度および 2025 年度の 3 時点すべてにおいて、能登町が実施する健診を受診した方のうち、2021 年度の健診受診時点で 65 歳以上であった方を対象とします。ただし、提供されたデータの欠損により、研究の解析に必要なデータが得られない方は解析対象から除外します。対象となる方は、能登町健康福祉課による事前確認では 328 名です。研究では、このうち提供されたデータの状況を確認した上で、解析対象者を決定します。

2．研究に用いる試料・情報

本研究では、能登町が実施した 2021 年度、2023 年度および 2025 年度の健診で得られた既存の情報を使用します。使用する情報は、年齢、性別、既往歴（高血圧、糖尿病、脂質異常症、脳卒中、心疾患、慢性腎不全、精神疾患）、身体計測（身長、体重、腹囲、BMI）、バイタルサイン（血圧、脈拍、体温）、血液検査データ（血色素量、中性脂肪、HDL コレステロール、LDL コレステロール、空腹時血糖、HbA1c、AST、ALT、γ-GT、血清クレアチニン、eGFR）、尿検査データ（尿蛋白、尿糖、尿潜血）、生活習慣（喫煙状況、飲酒の頻度・程度、運動習慣）、栄養状態（食事摂取量、口腔機能・嚥下機能、食事摂取時間、間食の有無、朝食の摂取状況）、睡眠・休息状況、ストレスの増大・抑うつ感の有無、社会生活（孤独感の有無、社会参加の頻度、外出頻度）です。

これらは、能登町が実施した健診の過程で既に取得されている情報であり、本研究のために新たな検査や調査を行うことはありません。

また、研究に使用する健診データは、能登町健康福祉課において個人を特定できないよう仮名化された後、福井大学に提供されます。福井大学の

研究者は、氏名、住所等の個人を直接特定できる情報の提供を受けません。

研究成果は学会や学術雑誌等で発表しますが、研究対象者個人を特定できる形で公表することはありません。

3. 研究の方法

本研究では、能登町健康福祉課が保有する 2021 年度、2023 年度および 2025 年度の健診データの提供を受けて研究を行います。研究に使用するデータは、能登町健康福祉課において個人を特定できないよう仮名化された後、福井大学へ提供されます。

提供された健診データを用いて、2021 年度、2023 年度および 2025 年度の各時点における Frailty Index（FI）を算出します。FI は、既往歴、身体計測、血液・尿検査、生活習慣、問診項目などの健康上の問題の蓄積を数値として表す指標です。算出した FI について、COVID-19 流行期（2021 年度）、震災前（2023 年度）および令和 6 年能登半島地震後（2025 年度）の 3 時点における変化を比較します。また、年齢、性別などの基本属性や健康関連項目と FI の経時的変化との関連について検討します。

情報の管理については、福井大学が責任をもって適切に行います。

データの提供は、Proself 等のセキュリティーが確保されたファイル共有システムを用いて行います。

【研究利用を拒否する場合について】

本研究では、研究対象者から個別に同意を取得することに代えて、本情報公開文書により研究の実施についてお知らせし、研究へのデータ利用を拒否する機会（オプトアウト）を保障しています。研究へのデータ利用を希望されない場合は、下記の「問い合わせ窓口」までご連絡ください。ただし、本研究で使用するデータは、能登町から福井大学へ提供される時点で個人を特定できないよう加工されています。そのため、福井大学の研究者は、研究利用を希望されない方のデータを特定することができず、個別に研究利用から除外または削除することはできません。この点についてご了承いただきたくお願いいたします。

【研究結果の開示】

当研究は基礎的な研究を目的としているため、得られた結果の精度が十分でないため、結果を開示することで研究対象者や研究対象者の血縁者に有益と

なることは少なく、かえって誤解や不安をまねく懸念があります。このため、現時点ではあなたに対して解析結果を開示いたしません。

【利益相反について】

利益相反とは、外部との経済的な利益関係（資金提供など）によって、研究データの改ざん、特定企業の優遇など研究が公正かつ適切に行われていないのではないか（企業に有利な結果しか公表されないのではないか）と第三者から懸念されかねない事態のことをいいます。

この研究は、特定の企業や団体から研究資金や給与・謝金など、特別な便宜を受けていないことを福井大学臨床研究利益相反審査委員会に全て報告し、利益相反状態でないと判定されています。研究を公正に遂行し、対象となる方に不利益になることや、研究結果を歪めることは一切いたしません。

【研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手・閲覧方法】

本研究では、他の研究対象となる方の個人情報等の保護および本研究の独創性の確保に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することが可能です。その入手・閲覧をご希望される際には下記「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。

【個人情報の開示等に関する手続き】

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。
≪福井大学における個人情報保護について≫
http://www.u-fukui.ac.jp/cont_about/disclosure/privacy/

【本学における研究責任者】

福井大学学術研究院医学系部門看護学領域臨床看護学分野　教授
佐藤　大介

【本研究に関する問い合わせ窓口など】

〇問い合わせ窓口（ご自身の試料や情報を使用されたくない方はこちらまでご連絡下さい）

〒910-1193　福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3
福井大学学術研究院医学系部門看護学領域臨床看護学分野
電話：0776-61-8556

FAX：0776-61-8556
E-mail：satodai@u-fukui.ac.jp

〇ご意見・苦情窓口
〒910-1193
福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3
福井大学医学部附属病院医学研究支援センター
電話：0776-61-8529
受付時間：平日 8：30～17：15（年末年始、祝・祭日除く）